

世界最大規模のデザイン見本市「i Saloni Milano」、通称「ミラノサローネ」は、イタリア・ミラノで毎年4月に開催されます。1961年よりスタートした歴史ある国際的なデザインイベントです。50回目となる2011年は、4月12日から17日の6日間にわたって開催されました。

2011年、LIXILはINAXブランドを掲げ「ミラノサローネ」へ初出展し、日本発の新しいバスライフを発表しました。SUPERSTUDIO PIU'内の展示会場では新開発の泡を使ったバスタブの発表に加え、INAXのテクノロジーも展示し、INAXブランドの機能性とデザイン性の高い商品が、世界中の業界関係者から注目され、約28,000名もの方にご来場いただきました。

今回発表した「バスタブコンセプトモデル」と「シャワーブースコンセプトモデル」のデザインおよび展示全体のデザイン・監修は、世界的なプロ

ダクトデザイナー・喜多俊之氏によるものです。

展示テーマ「FURO — DISCOVER YOUR NATURE」

西洋における「BATH」は、体を清潔にする場所であることに對し、日本の「FURO(風呂)」は、体を清潔にするだけでなく、温かい湯につかることで、心や体を癒す場所という意味を持っています。「FURO — DISCOVER YOUR NATURE」というテーマは、INAXが新開発した今までにない、きめ細かいクリーム状の泡により、特有の「FURO」文化を持つ日本から発信する新感覚の入浴を表現しています。

新感覚の入浴「泡浴」

泡は、バスタブ1/2程度のお湯に専用の泡剤を混ぜ、バスタブに取り付けられた泡発生装置を循環させることで空気と混ざり、発生します。泡の直径は、およそ100-数100マイクロ

ンと微細で、クリームのような、従来からあるバブルバスやジェットバスとは全く異なる触感が味わえます。バスタブの中はお湯と泡が1/2ずつの状態、それはちょうどイタリアで好まれるコーヒー、カプチーノのようです。

滑らかな泡が体を包み込み、ゆったりとした時間をバスタブの中で過ごすことができます。泡がフタになり、お湯が冷めにくく、湯気が立ちにくい。ため、設置場所を選ばず、新たな入浴空間をつくることを可能にします。また、大切な水を多く使わないので、環境に優しくもあります。

会場では、実際に出来立ての温かい泡に触れるコーナーも設置し、来場者に泡に触れていただきました。企画段階では興味を持っていただけか心配していましたが、想像を上回るほど大人から子どもまで多くの方にご体験いただき、初めて触る泡の感触に、感嘆の声が聞かれました。



1 — 展示風景：中央が喜多氏デザインのバスタブ | 2 — バスタブの吐出口から出るカプチーノのような泡 | 3 — 泡に触って楽しむ子どもたち | 4 — INAXテクノロジー展示：INAXブランドの代表的な技術を商品のカットモデルと映像で紹介。右は「REGIO」のカットモデル